



二月二十日(第三日曜日)は家庭の日です……「まずみんなの話し合いから」

農村建設班について

補導員 五十嵐 衛

本年度の建設班も多くの方々から多大の支援と激励を受け、所期の目的を果して間もなく修了することになった。だが、この機会に建設班の目的と性格を述べて日頃の厚情に対する感謝のしるしとして、

寝食を共にして

団員の研修会

県見町青年連絡協議会(会長長佐藤洋一君)では青年学級と共催、町公民館の後援をうけて団員研修会を開いた。各地区から選ばれた中堅団員たちは、土湯青年の家(福島市立)を会場とし、一月二十三日より二泊三日、共同生活をしながら、福島大学の佐藤



利雄先生の「青春の生き方」県教委佐藤利三郎先生の「青年団の目的性格とその運営」などについて講話を聞き、更に産業、文化、体育、社会、総務などの部会にわかれ、それぞれ力のある年間事業計画の立て方を実際にやってみるなど、あたかも中央における幹部研修会の内容にも比すべき充実したもので、これからの団運営に大きな効果を及ぼすものと期待される。

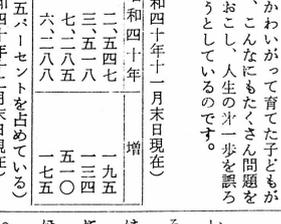
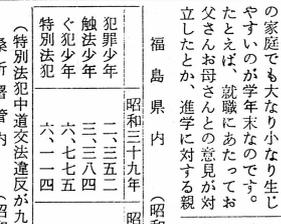
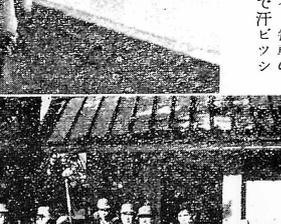
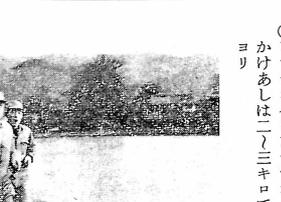
建設班で、町村単位に一定の青少年をもって編成し、学習クラブ活動、共同作業、一貫した集団生活を通して自治能力を養い、新しい農業経営を推進するために必要な知識と技術を習得せしめ、更に不屈不撓の実践力を養成しようとしている。

都会の老人でも暇があるのは、いわず中産階級以上に限らず、零細企業や日雇労働の場で働いている老人はとなく過労です。同様なことは農村においてもいえる。若い働き手のいなくなった農村では激しい労働がみな老人の上のしかかっているのだから、このように老人に對してはより休養を充たせられるように配慮することが大切です。小企業や零細企業には若年労働者が就職してこないので、その肩

代わりを老人にやらせ、労働を強化している例も少なくないといわれます。農でできるだけ仕事を合理化し、村の場合には、むしろ老人が働きの中心とならなければならぬ状態です。そこでこうした老人には、まよ休養をとらせることで、大きくいえば農村構造全体の問題として国家的な慰安休養の場所を作るべき

「としよりに休養と慰安を」老人をどう処遇するか……(七) 民館や農協も、部落や村(地区、方部)を単位として、そのための計画をたてるべきでしょう。また手近に慰安休養の場所を作るべき

「国民年金の掛金などは、こうした施設の建設のために活用されるべきでしょう。温泉地などできている老人休養のための施設は、むしろ中産階級以上の層のほうに多い。地方には、むしろ中産階級以上の層のほうに多い。地方には、むしろ中産階級以上の層のほうに多い。地方には、むしろ中産階級以上の層のほうに多い。



所の指導のもとに、町の産業委員を中心とし、議会、教育委員会、農業委員会、公民館等の指導と協力を得て、婦人、青年の生き方、町財政、人間関係、民謡と詩の研究、交通法規、

○一般教養的学科 世界の情勢と日本の立場、地方自治法、郷土史の研究、青年の生き方、町財政、人間関係、民謡と詩の研究、交通法規、

○農業の学科 町の農業政策、今後の農業経営、農業改善事業、農業共済制度、農業基本法、農業協同組合(総論及各論)、農業簿記、林業経営、稲作、果樹、そさい、土壌と肥料、農業について、養蚕

○実習 大型ホエルトラクターの運転操作、測量(外業内業)、農機具の構造と取扱、共同作業

○日課 起床、洗面、朝の集い(国旗掲揚、国歌、体操、かけあし)、宿舎内外清掃、朝食、朝練、講義又は実習、昼食、講義又は実習、国旗降納、スポーツ、夕食、自習、歌の練習、共同学習、点呼(我等の目標、日の終り合唱)、消灯(我等の目標、入浴は一日おき)

○建設改善は基盤整備から！ 測量実習も一とおりマスターする

○運転免許をめぐってオートトラクターの操作実習

○運動免許をめぐってオートトラクターの操作実習

○運動免許をめぐってオートトラクターの操作実習

○運動免許をめぐってオートトラクターの操作実習

○運動免許をめぐってオートトラクターの操作実習

「よりよい話し合いの時間をもちましよう」 少年の非行の芽は家庭から、娘さんや女子生徒の家からとよくいわれますが、少年の非行を防止する、最も大切な役割を果しているのが各家庭の皆さまです。学期末は、いろいろな面で、少年に明るが降りかかる時期ですから、「うちの子に限って」などと過信する事なく、夕食のひとときを、よりよい家庭の日として是非子どもと話し合いの時間をとって、かわいい子どもを非行から守り、下っかかり手をとってあげてください。なおお近頃は、性的犯罪の発生が増加しております。です

「あなたかいい思いやりで 学年末を」 「本県の非行少年は、反抗的で、集団化している」と新聞は報道しています。青少年の不良化防止の問題は、今や大きな社会問題となっており、国も県もききとっていろいろの対策を講じていますが、依然として少年非行は増加しています。(別表) 二月、三月は、少年たちに、卒業、進学、就職など、新しい人生の希望が芽ばえてくる大切な時期で、この新しい希望の芽ばえと共に、いえるような少年問題が、どの家庭でも大なり小なり生じやすくなるのが学年末なのです。たとえば、就職にあたってお父さんお母さんとの意見が対立したとか、進学に対する親

「あなたかいい思いやりで 学年末を」 学年末です。お母さん、しっかりたのみます。 学年末を、の過大な期待など、こうした「集団化している」と新聞は報道しています。青少年の不良化防止の問題は、今や大きな社会問題となっており、国も県もききとっていろいろの対策を講じていますが、依然として少年非行は増加しています。(別表) 二月、三月は、少年たちに、卒業、進学、就職など、新しい人生の希望が芽ばえてくる大切な時期で、この新しい希望の芽ばえと共に、いえるような少年問題が、どの家庭でも大なり小なり生じやすくなるのが学年末なのです。たとえば、就職にあたってお父さんお母さんとの意見が対立したとか、進学に対する親

「あなたかいい思いやりで 学年末を」 学年末です。お母さん、しっかりたのみます。 学年末を、の過大な期待など、こうした「集団化している」と新聞は報道しています。青少年の不良化防止の問題は、今や大きな社会問題となっており、国も県もききとっていろいろの対策を講じていますが、依然として少年非行は増加しています。(別表) 二月、三月は、少年たちに、卒業、進学、就職など、新しい人生の希望が芽ばえてくる大切な時期で、この新しい希望の芽ばえと共に、いえるような少年問題が、どの家庭でも大なり小なり生じやすくなるのが学年末なのです。たとえば、就職にあたってお父さんお母さんとの意見が対立したとか、進学に対する親